



横浜市立富岡小学校

学校だより 7月号



前期前半の振り返りを大切に
～夏休みを有意義に過ごすために～

校長 浅野 修一

梅雨も半ばに差しかかりました。花だん隊の皆様と3年生で植えた第2校舎裏や給食室前の花壇の花も、たっぷり水を吸いしっかりと根付き、きれいに咲き誇っています。

運動会の頃のさわやかな風から、たっぷり湿気を含んだ風が変わり、教室ではエアコンがフル稼働しています。子どもたちは梅雨の晴れ間には元気いっぱい校庭で遊んでいます。これからは、今まで以上に熱中症に気を付けなければいけない季節になります。先日、横浜市立学校全校に熱中症指数モニターが配付されました。本校にも4台のモニターが配付され、すでに運動会時より使用し、熱中症指数の数値に注意を払いながら競技を進めました。今後も水泳学習を含めた体育の授業をはじめ様々な活動場面でこのモニターを活用し、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

6月20日にプール開きがあり、いよいよ水泳学習が始まりました。翌週の26日に令和のトップを切って1年生の水泳学習を行いました。初めて小学校のプールに入る1年生。期待とともに不安もあったことと思いますが、授業が始まると笑顔いっぱいに水をかけ合ったり、浮き具につかまって楽しんだりと存分に水と親しんでいるようでした。保護者の皆様には水着などの準備についてご協力いただきありがとうございました。さて水泳学習ではクロールや平泳ぎなどの泳法を身につけて泳



げるようになることが目標ですが、水中で自分の体が浮くことを経験したり水の抵抗を感じたりすることで、万一川や海に転落した時などに、自分の身を守るための手段として身につけてもらうことも大切と考えています。6年生は「着衣泳」を行い、より非常時に即した体験をすることで、いざというときに役立つ力となることを期待しています。もちろんそのような場面がないことを心から祈っていますが…



早いもので、あと20日ほどで夏休みに入ります。今この期間を、前期前半のまとめをするとともに、夏休みに取り組みたいことや力をつけたいことを見つける時間にしてほしいです。特に40日間という長い休みにしかできないことが見つかるといいですね。継続的に観察したり学習したり運動したり…たとえ1回が短い時間でも、毎日続けることで大きな力になります。われわれ大人はこれまでの経験から「継続は力なり」ということを理解できますが、子どもにはなかなかわからない感覚なのかもしれません。学校でも、計画的に毎日少しずつ課題に取り組めるよう指導してまいります。ぜひご家庭でもお声掛けいただきますようお願いいたします。

8月26日前期後半の授業開始日に、元気な子ども達の笑顔が見られることを楽しみにしています。